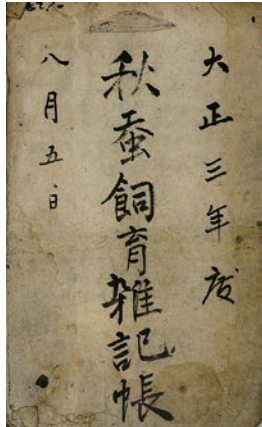




東広島市史編さんだより

第4号 令和6(2024)年9月1日



昭和10年の広島県立蚕業試験場庄原支場での
給桑実習風景（庄原市教育委員会より提供）



西志和村の養蚕家^{ようさん か}が、大正10年（1921）に高田郡吉田町（現在の安芸高田市）で行われた蚕糸品評会^{さん し ひんぴょうかい}で一等賞を受賞した際の賞状が発見されました。このほかにも、講習会の資料や蚕^{かいこ}の飼育日記など、多くの資料が見つかり、養蚕家^{ようさん}が熱心に情報収集を行い、ひたむきに養蚕に取り組んでいた様子をうかがうことができます。

養蚕とは、蚕と呼ばれる蛾の一種を飼って、生糸の原料になる繭^{まゆ}を生産する産業です。明治から昭和前期まで、東広島市域でもさまざまな場所で養蚕が行われていました。現在の市域にあたる賀茂郡や豊田郡では、県内の他の郡と比べると生産量は少なかったものの、各地で養蚕組合が作られ、共同で飼育や販売^{はんばい}を行ったり、養蚕の先生から指導を受けたりして、地域全体で養蚕に取り組んでいました。

今回発見された資料から、生産量では他郡に及ばないものの、高品質の蚕糸が生産されていたことがわかりました。

これらの資料は、志和町の民家の蔵から発見されたものです。もしかすると、皆さんのお宅にも、地域の新しい一面がわかる貴重な資料が眠^{ねむ}っているかもしれません。

1

わた海を渡った東広島の古文書

1. 『福本村文書』 アメリカへ行く

令和6年6月 アメリカのイエール大学より一通のメールが届きました。それは福本村（現在の西条町福本地区）に関する多量の古文書を所蔵しており、市史への活用が必要なら協力も出来るという知らせでした。

同大学東アジア研究評議会の竹ノ内雅人さんによると、古文書は昨年夏に購入し、竹ノ内さんや客員研究員、大学院生が目録を作成したということでした。その後、福本村の情報を収集する中で東広島市が市史編さん事業を行っているを知り、代表のボツマン教授の意向により情報の提供と協力を申し出たということでした。

東広島市ではぜひ『福本村文書』を市史に活用したいと考え、市史編さん専門部会の勝部眞人部会長（近現代部会）、西村晃部会長（近世部会）へ成り行きを報告し、東広島市で竹ノ内さんから『福本村文書』について詳しい説明を受ける運びとなりました。



イエール大学 竹ノ内さん



左：勝部部会長

右：西村部会長

2. 7月の会談

令和6年7月17日 東広島市役所にて竹ノ内さんから『福本村文書』について説明を受け、勝部部会長、西村部会長とともに絵図や文書の画像を見ながら今後の活用方法について話し合いをしました。

『福本村文書』には江戸期の庄屋が作成した文書や明治期の村役場文書、幕末から大正にかけての日記、神事の記録、日用品購入の記録、広島藩へ提出した福本村の国郡志下調べ帳（村の様子を記した地誌）など当時の福本村の生活がわかる資料が多く含まれており、貴重な資料であることが確認されました。

竹ノ内さんからはイエール大学では当初研究者の教育目的で購入したが、今後研究したいという学生が現れればウェブなどでの発表も考えたいという発言もありました。

話し合いの結果、ありがたいことにイエール大学の研究者達が目録の細目を取りつつ、東広島市史に必要な資料の写真撮影とその画像データの提供を行っていただくことになりました。

その後、皆さんは福本村のあった西条町福本周辺へ向かい、絵図に描かれていたと推定される場所を視察しました。

その後、皆さんは福本村のあった西条町福本周辺へ向かい、絵図に描かれていたと推定される場所を視察しました。

今後の展開については次回以降もお伝えし続けますので、ご期待いただけると幸いです。

イエール大学ってどんなところ？

イエール大学はニューヨークから電車で2時間ほどのロング・アイランド湾に面したニューヘブンという街にあります。大学の規模は大きく、教会や劇場が大学の敷地内にあり、「街の中に大学があるのではなく、大学の中に街がある」といった状況です。

嘉永6年（1853）の黒船来航時、通訳としてペリー提督に同行したサミュエル・ウィリアムズがその後イエール大学の教授になったことや、アメリカで日本の資料収集に力を尽くした朝河貫一が同大学初の日本人教授となった縁から、イエール大学では東アジアについての研究が盛んに進められています。



カイコについて



表紙で紹介されている蚕という昆虫について少しお話しします。

蚕はさなぎになる前に繭を作ります。この繭から絹のもとになる生糸が作られます。幕末期（160年程前）、ヨーロッパでは蚕の伝染病が流行し、清国（現在の中華人民共和国）ではアヘン戦争による混乱のため諸外国の生糸の生産は激減していました。その影響を受けて大正～昭和初期（100年程前）には生糸は日本の重要輸出品として全国各地で作られていました。当時養蚕は日本を支える産業の一つでした。

蚕は完全に家畜化された昆虫で、幼虫の状態では桑の葉にしがみつく力が弱く、羽のある成虫になっても飛ぶ力はありません。また、温度の変化や病気にも弱いので、蚕の飼育には細やかな配慮が必要でした。

表紙の一等賞受賞の陰には大変な苦勞があったのです。



2

市史の資料を集めています

資料を求める呼びかけに応じて貴重な資料の提供をいただいております。ご協力^{いただ}いている皆様に感謝申し上げます。

市史編さん室ではまちの歴史や東広島市らしさを語ってくれる次のような資料を引き続き探しています。

- 古い書物や手紙、日記
- 昔の行事のチラシや新聞記事
- 東広島市域で撮影された風景写真や家族写真
- 古い絵葉書
- 古い町並みなどを記した地図や絵図
- 和紙に墨^{すみ}で書かれた書状や帳面

このような資料があるときは、ぜひこちらへご連絡ください。皆様の情報提供をお待ちしています。

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
東広島市教育委員会
生涯学習部文化課 市史編さん室
TEL：082-420-0977 FAX：082-422-6531



事務局通信

今年の猛暑^{もうしょ}は格別で、市史編さん室でも資料調査の際は汗^{あせ}を拭きふき作業を行っていました。皆様におかれましては残暑^{のみま}お見舞い申し上げます。

資料調査で、亡^うくなられた彫刻家^{ちようこくか}のアトリエ兼住居^{うかが}へ伺った際には、作家さん自身が作られた立派な家具を拝見させていただく機会がありました。所々にこだわりが見える逸品^{いつぴん}と感じました。

ついでにとアトリエも見せていただき、沢山の工具と木材^{あつとう}に圧倒^{おもかげ}されつつも、ここで作家さんが作品や家具を作っていたのだなと面影^しを偲^{おも}ばせていただきました。



東広島市史編さんだよりー第4号ー

発行日 令和6（2024）年9月1日
編集・発行 東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 市史編さん室
〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
TEL: 082-420-0977 FAX: 082-422-6531
E-mail: hgh200977@city.higashihiroshima.lg.jp
印刷 一般社団法人東広島自立支援センターあゆみ